

士別市の公共交通を良くするための アンケート調査結果【通学動向調査】

◆ 調査内容

目的 : 士別市内の高校に通学する学生を対象に公共交通に対するニーズを把握するため、アンケート調査を実施した。この調査結果を活用し、学生の通学行動を把握するとともに、公共交通を活用する上で、困っていることなどを把握することで、市内を運行するバス路線に関する改善事項等及び持続可能な公共交通のあり方を検討する基礎資料を作成する。

調査対象 : 士別市内の高校に通学している学生

配布日 : 平成30年9月12日（水）

配布数 : 283人

回収数 : 259人
回収率 91.5%

◆ 調査項目

問1 個人属性について

年齢、性別、居住形態、自動車保有状況及び自動車免許所持状況、交通費の金額と支払方法、部活動・習い事の有無

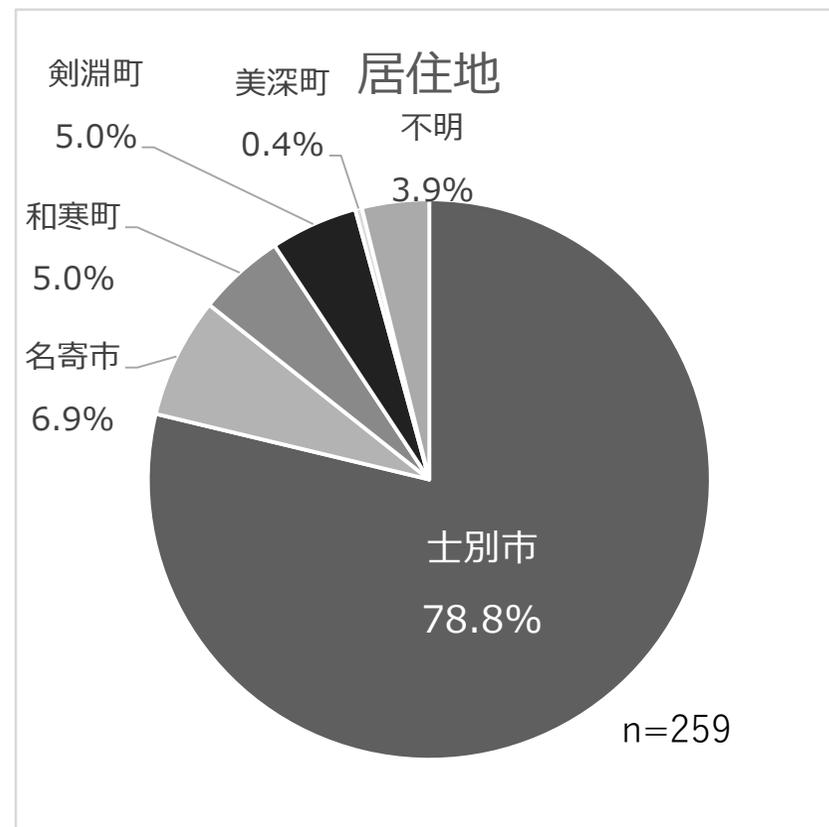
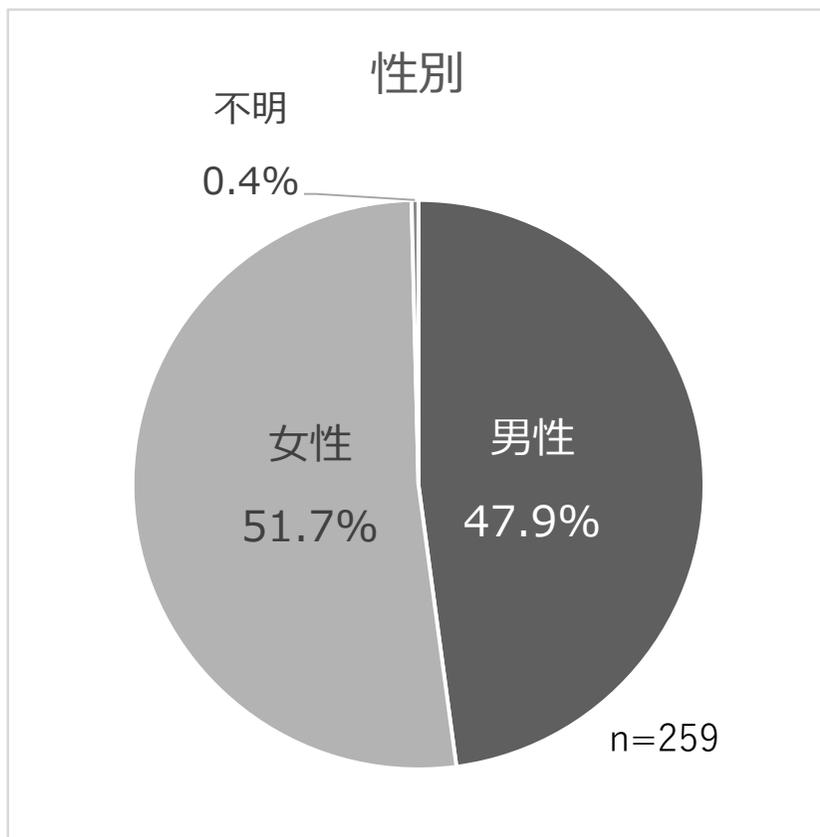
問2 通学で利用する交通手段について

夏期（7月）・冬期（2月）の主な登校・下校の通学手段とその利用時間

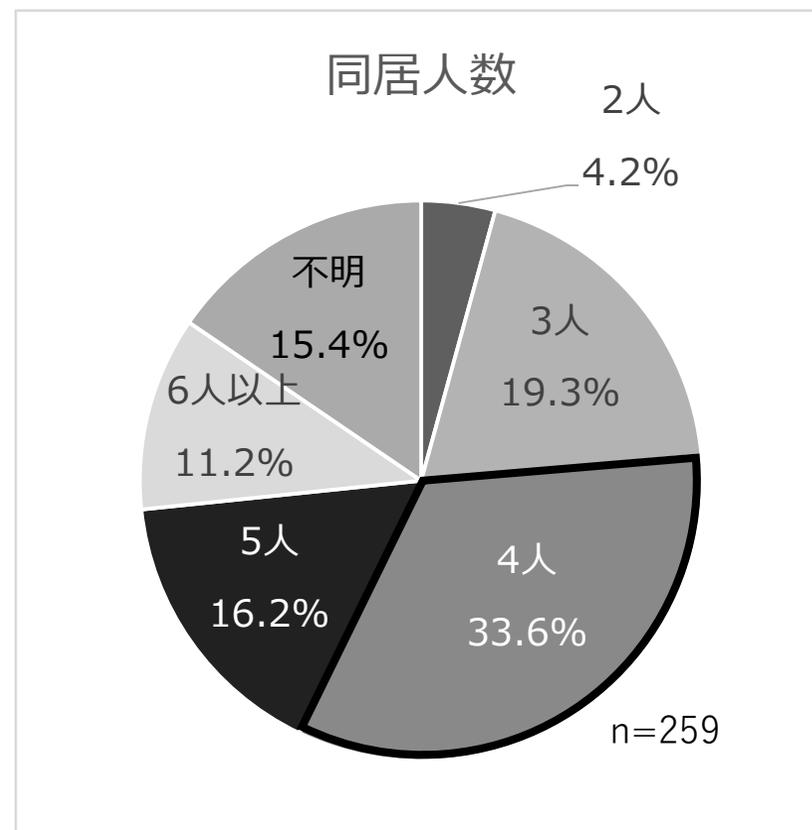
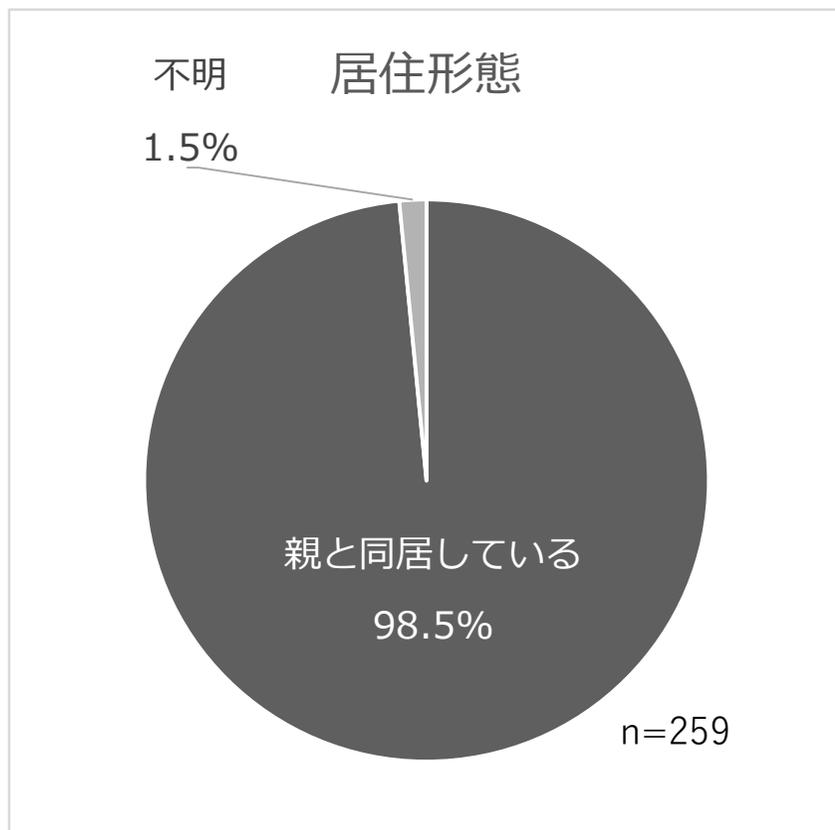
問3 通学で利用する交通手段の課題などについて

利用している交通手段(バス・自転車や徒歩・JR)の改善点や不満点、夏期や冬期にバスを利用しない理由、改善後のバス利用、今後の公共機関のあり方

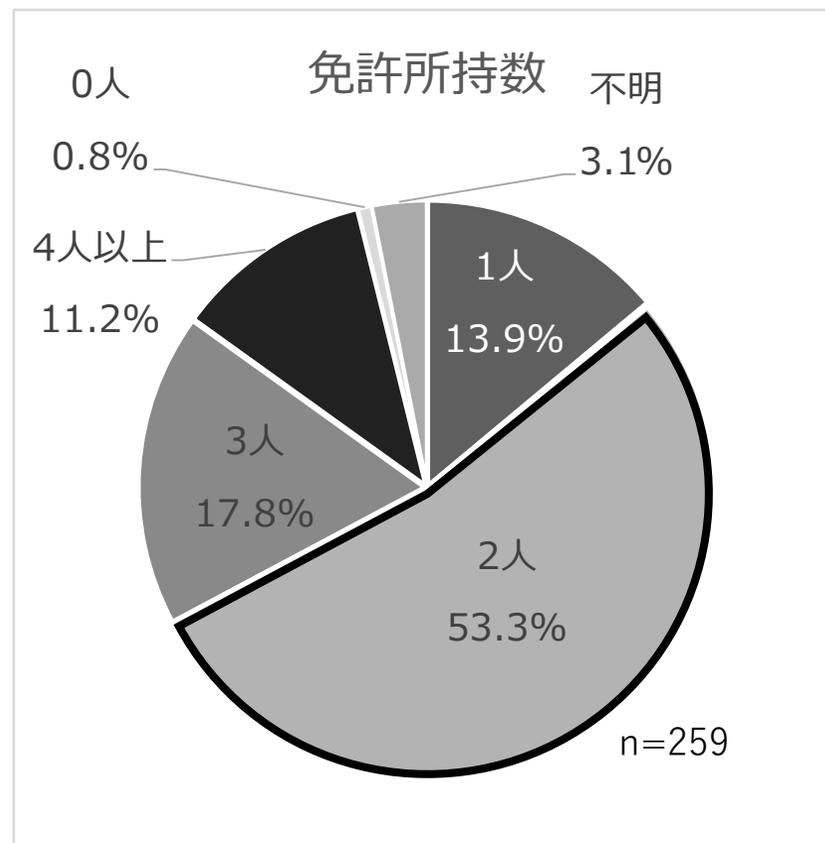
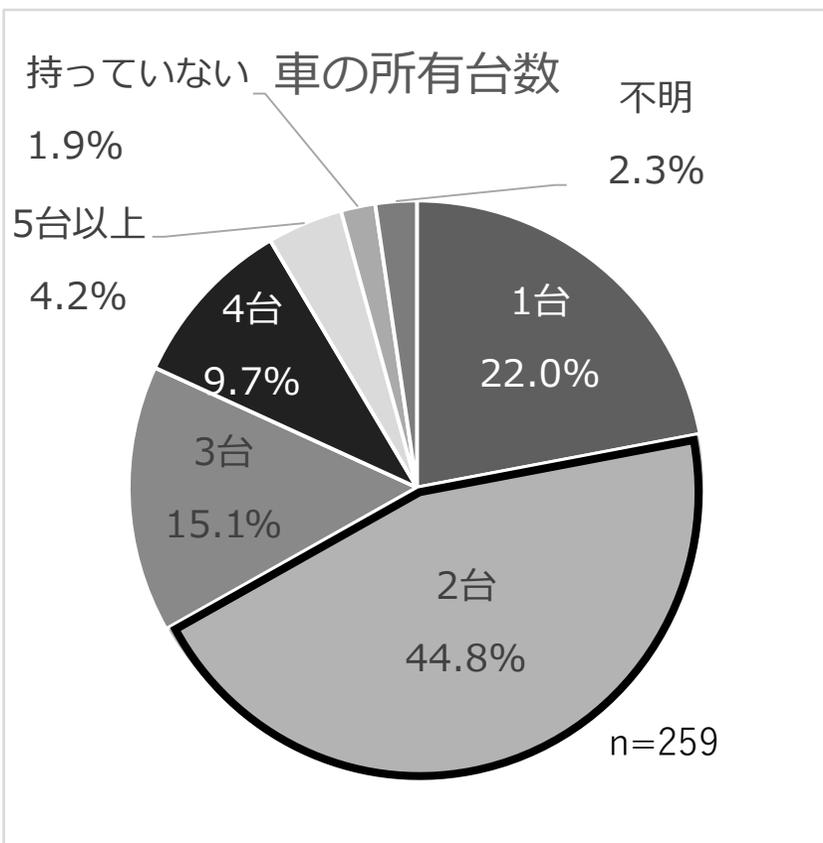
- 性別は、「男性」（47.9%）、「女性」（51.7%）と、やや女性からの回答が多くなっている。
- 居住地は「士別市」が約8割を占めている。



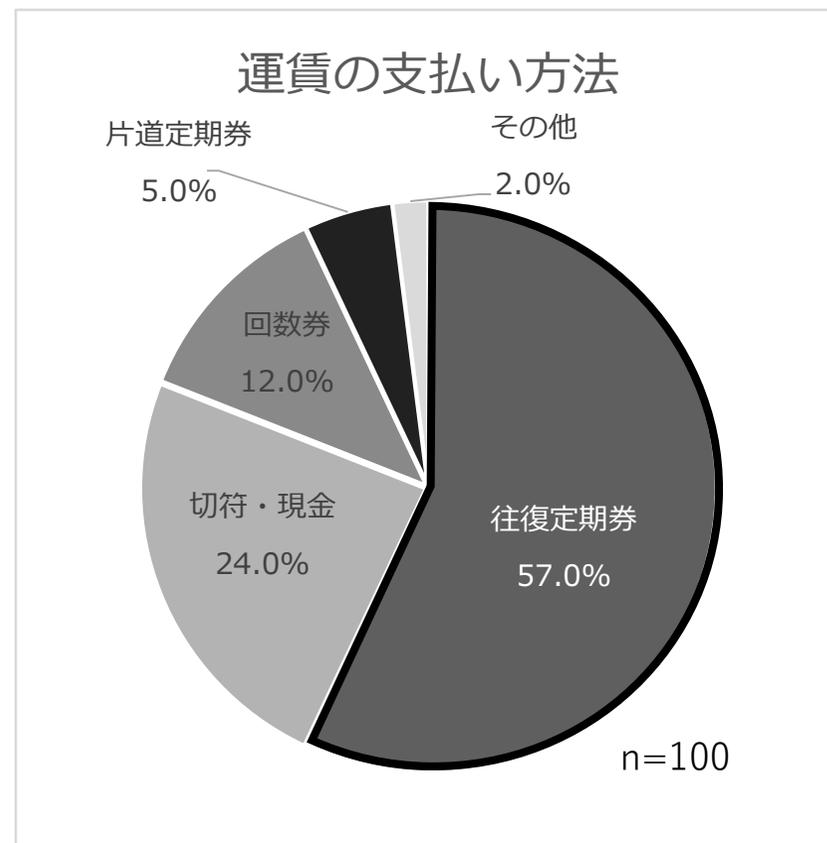
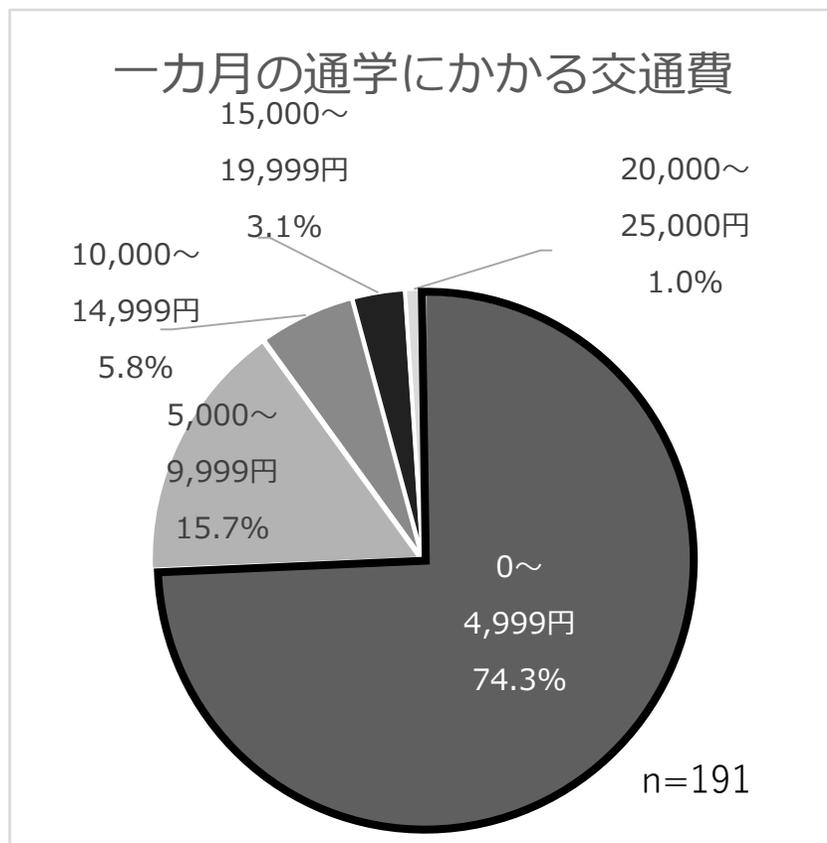
- 居住形態は、「親と同居している」との回答が、9割以上を占めている。
- 同居人数は、「4人」（33.6%）が最も多く、次いで「3人」（19.3%）、「5人」（16.2%）となっている。



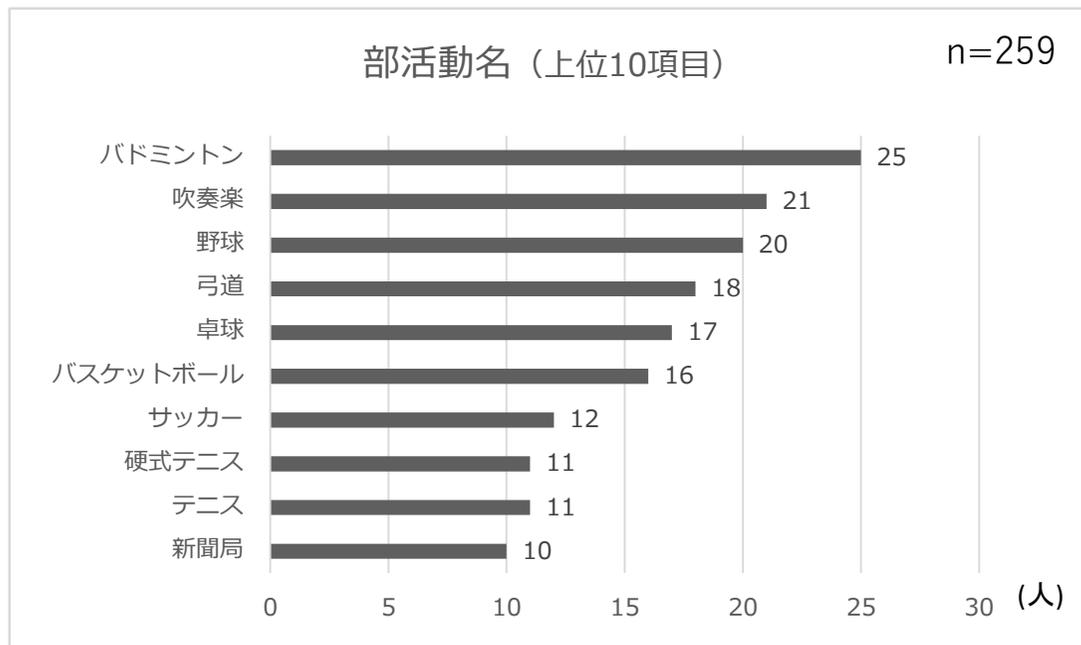
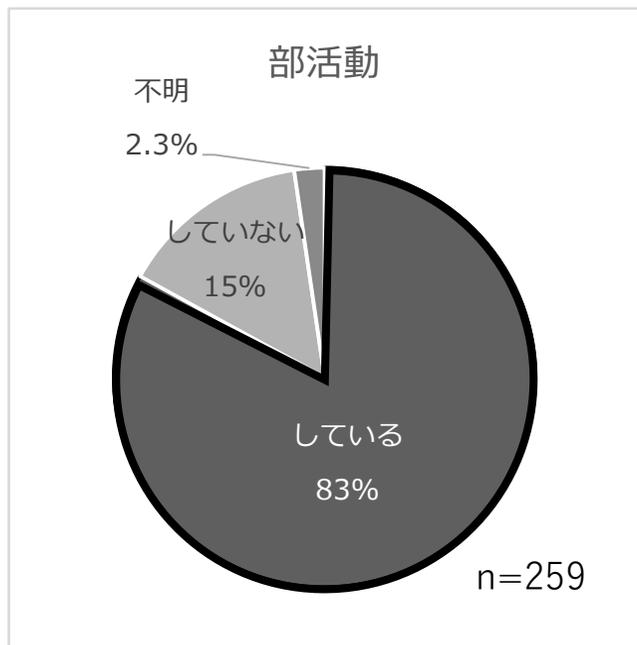
- 自宅・実家にある車の台数は「**2台**」(**44.8%**)が最も多く、次いで「**1台**」(**22.0%**)、「**3台**」(**15.1%**)となっている。
- 自宅・実家に住んでいる方で、免許を持っている方の人数は、「**2人**」(**53.3%**)が最も多く、次いで「**3人**」(**17.8%**)、「**1人**」(**13.9%**)となっている。



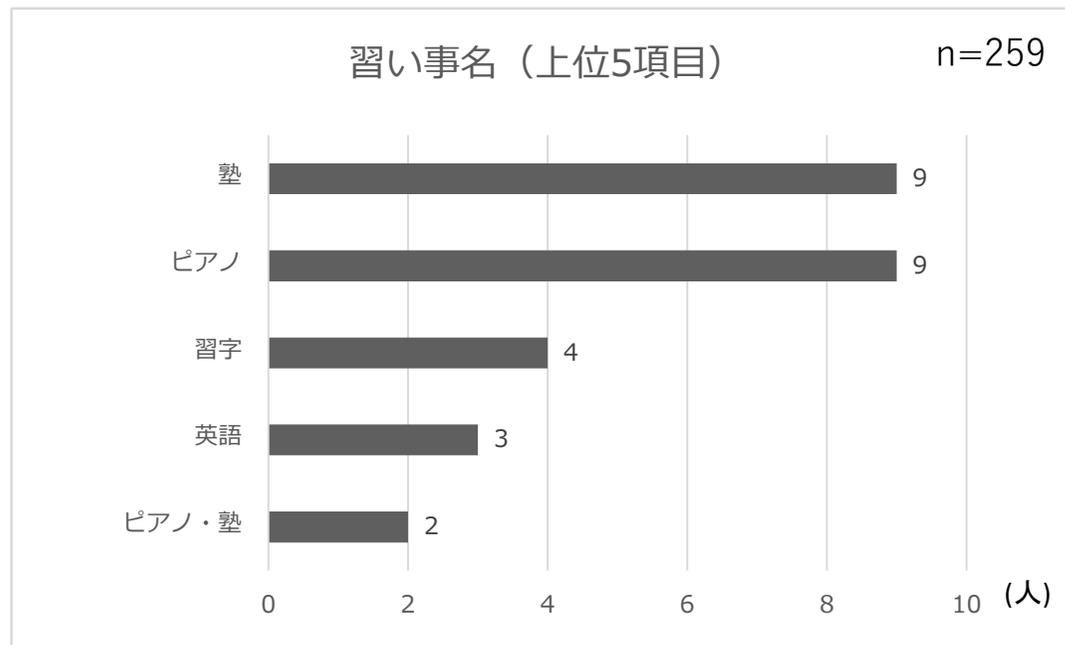
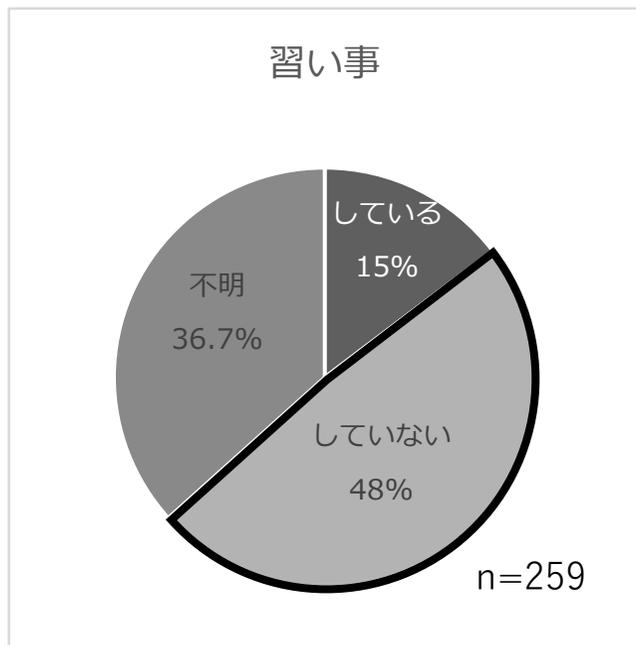
- 一カ月の通学にかかる交通費は「0~4,999円」(54.8%)が最も多く、次いで「5,000~9,999円」(11.6%)、「10,000~14,999円」(4.2%)となっている。
- 運賃の支払い方法は、「往復定期券」(22.0%)が最も多く、次いで「乗るたびに切符や現金で支払う」(9.3%)、「回数券」(4.6%)となっている。



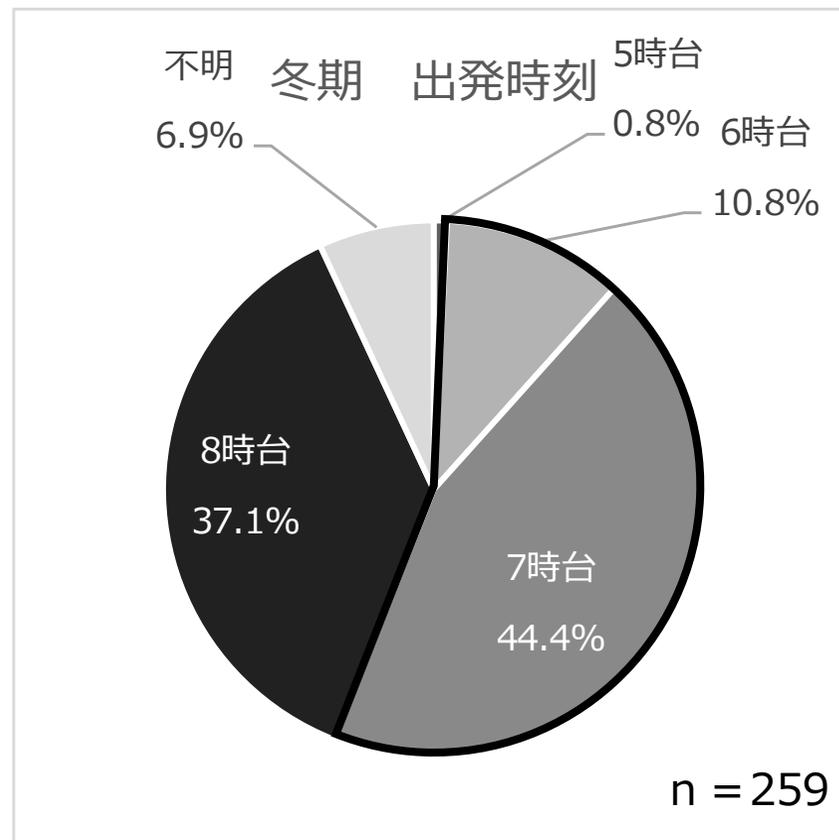
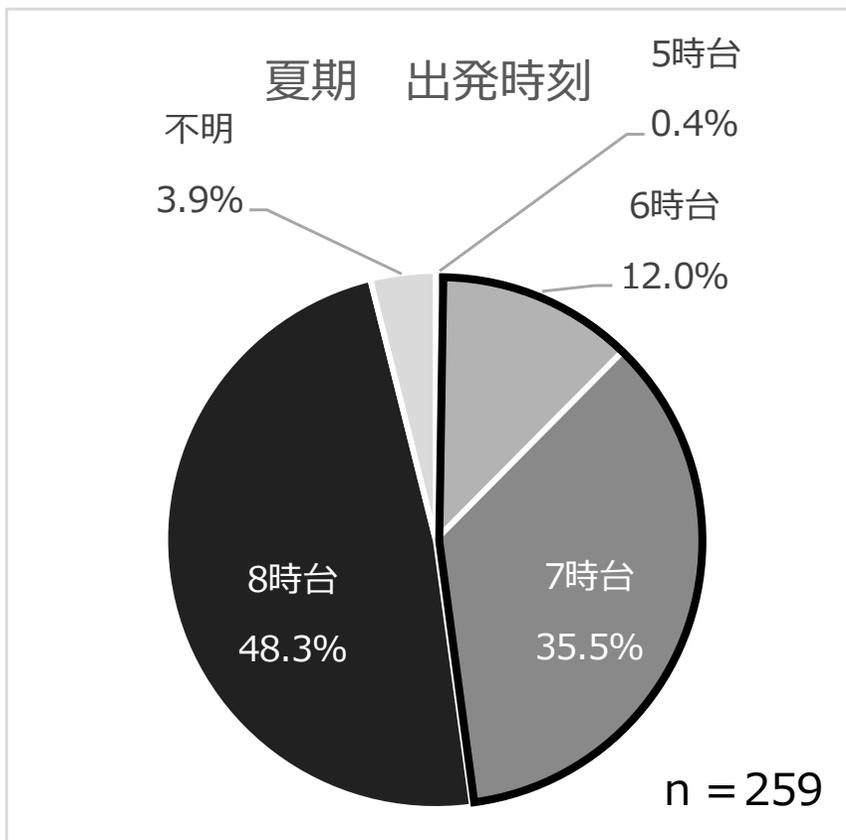
●部活動について「している」との回答が、約8割を占めている。所属している部活動は「バドミントン」(25人)が最も多く、次いで「吹奏楽」(21人)、「野球」(20人)となっている。



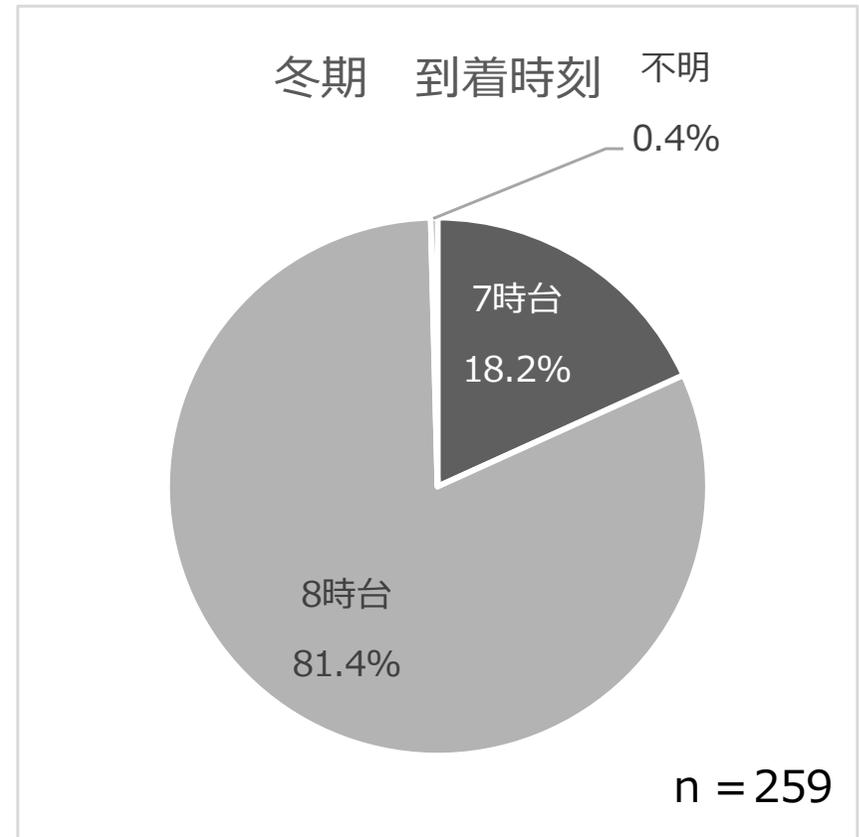
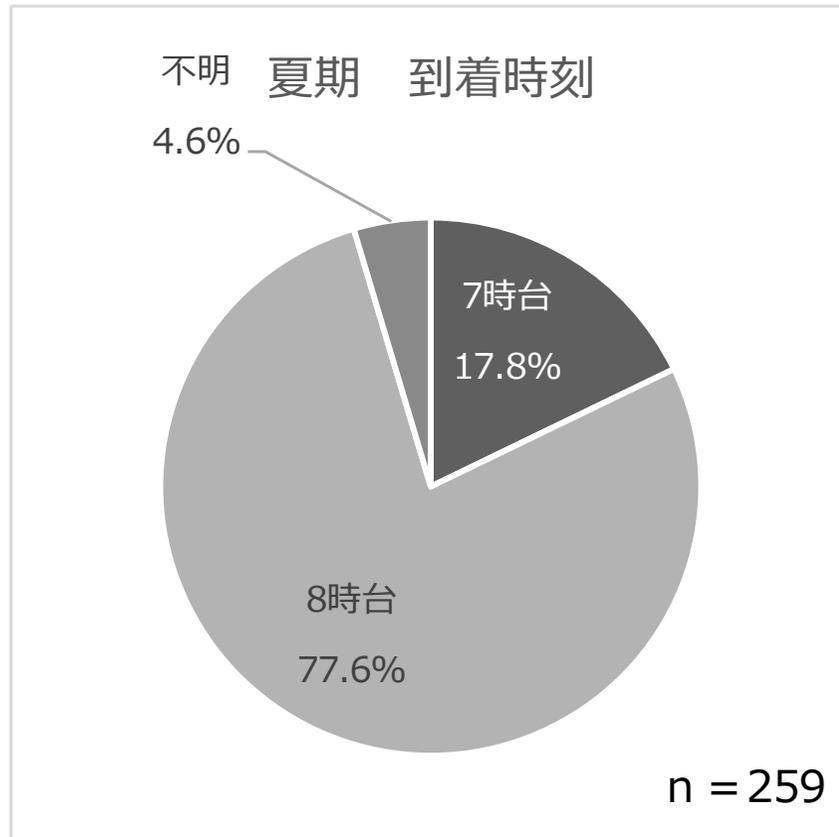
●習い事について「していない」との回答が、約5割を占めている。習い事は「塾」(9人)と「ピアノ」(9人)が最も多く、次いで「習字」(4人)、「英語塾」(3人)となっている。



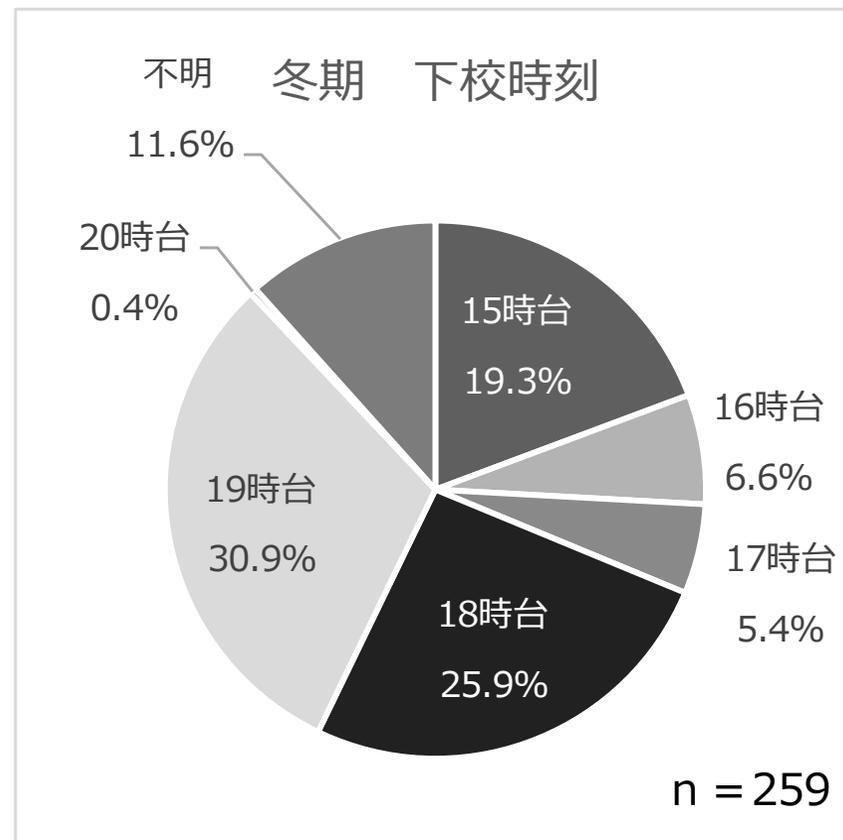
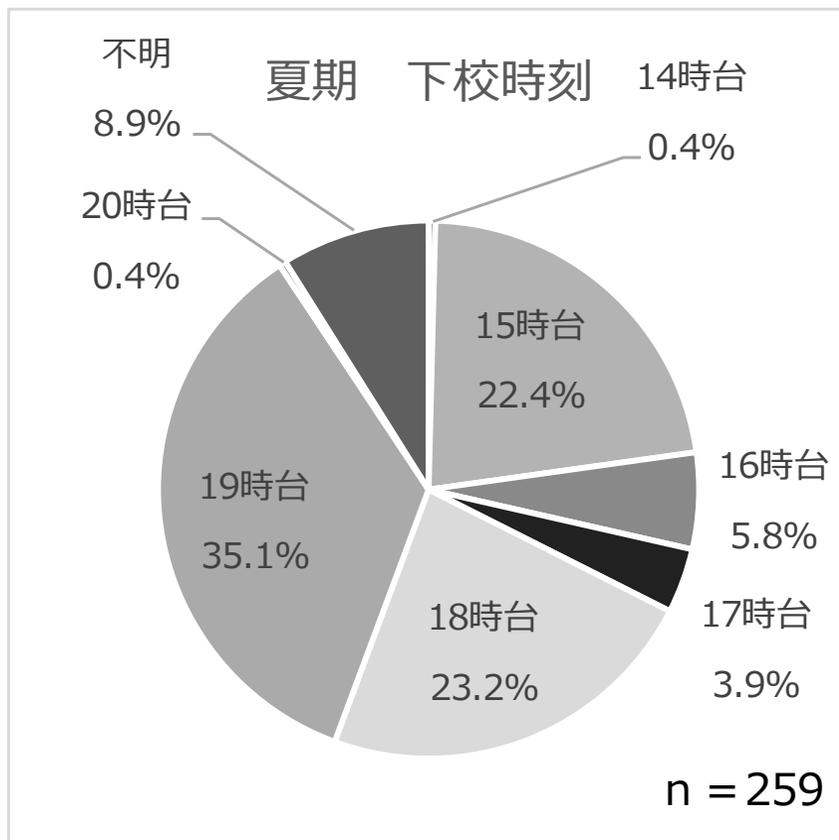
● 出発時刻は、8時までに出発しているのは、夏期47.9%、冬期56.0%と夏期より冬期の方が早い時間に出発している。



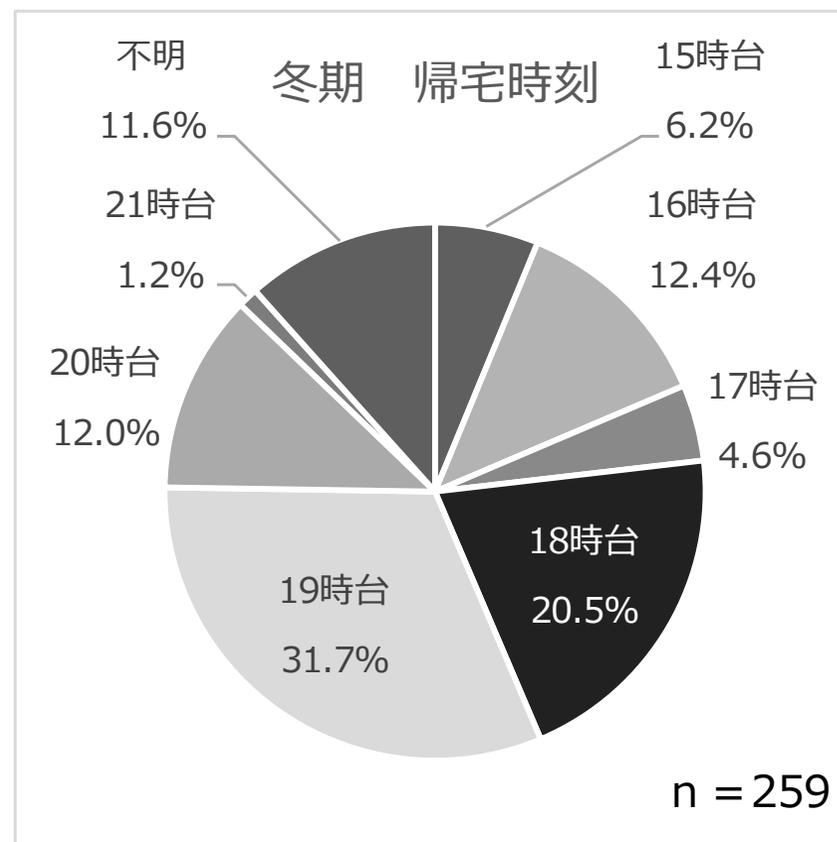
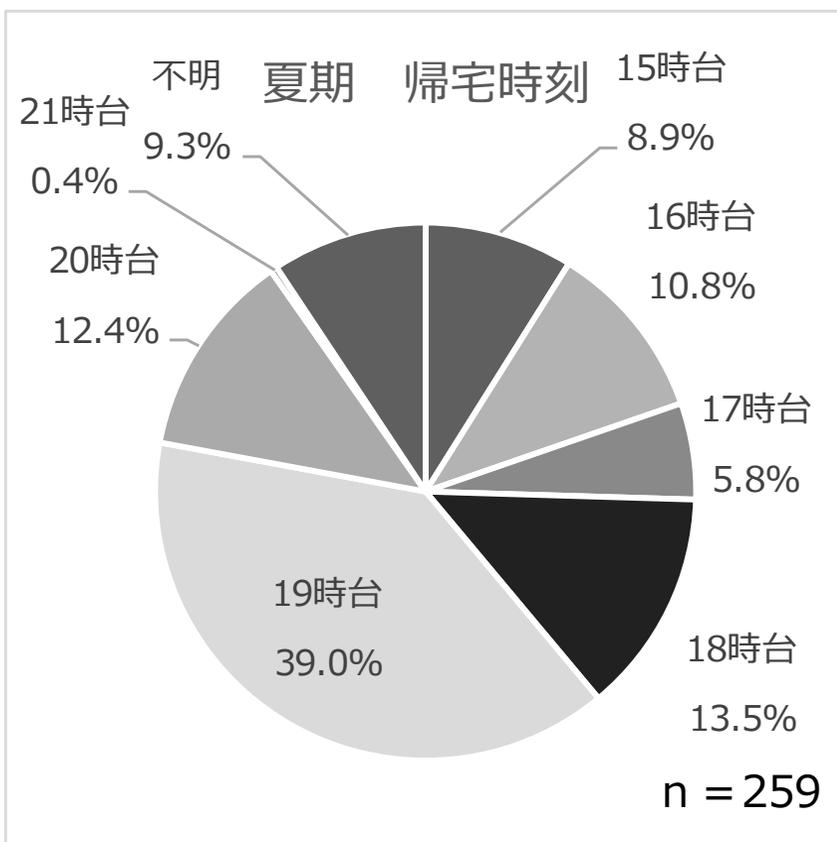
●到着時刻は、夏期と冬期で大きな差は見られない。



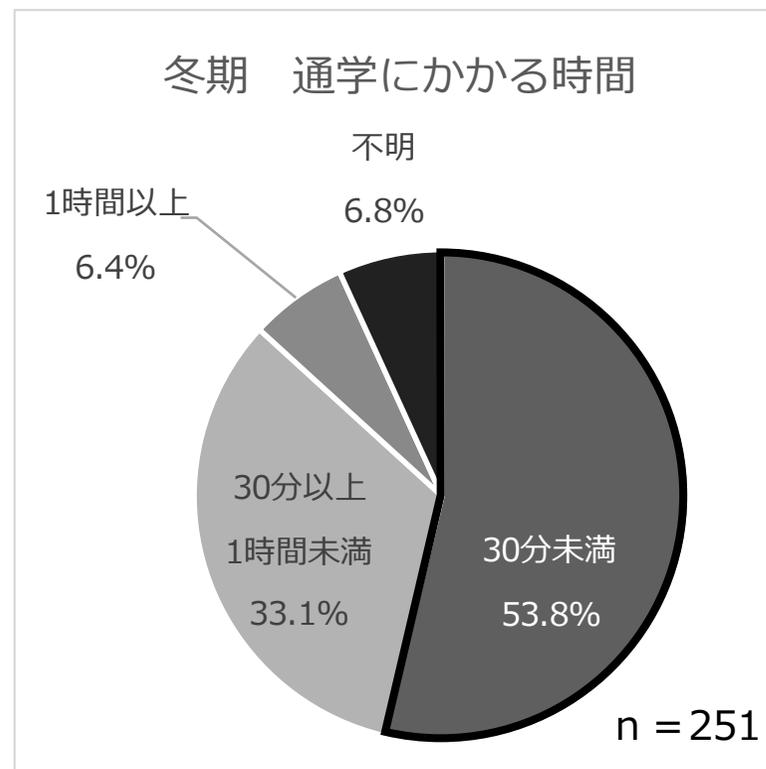
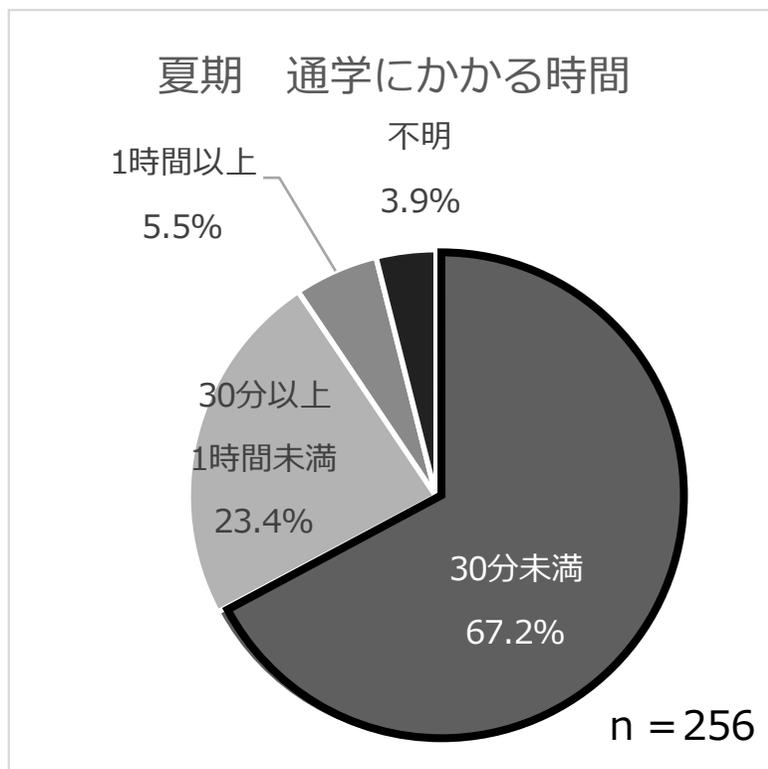
● 下校時刻は、夏期と冬期で大きな差は見られない。



● 帰宅時間は、夏期と冬期で大きな差は見られない。

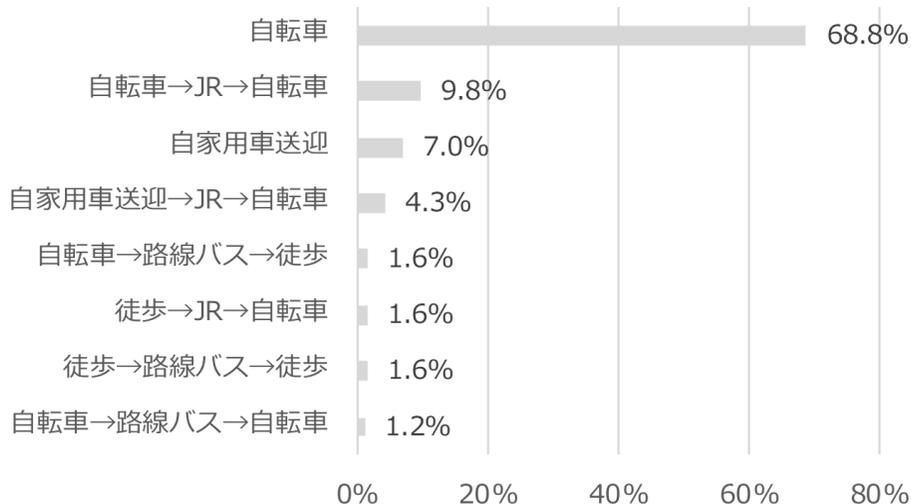


- 夏期と冬期における通学にかかわる時間を比較すると、夏期の方が「30分未満」の割合が高く、冬期では「30分以上1時間未満」の割合が高い傾向にある。

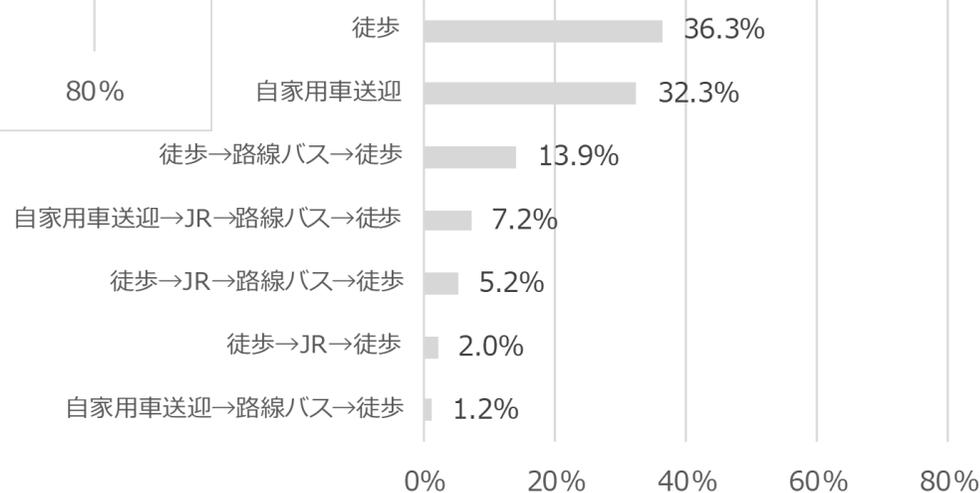


●夏期及び冬期で通学時間が異なる要因としては、移動手段の違いにあることが想定され、夏期においては「自転車」の割合が約7割となっており、冬期では「徒歩」の割合が高くなることが要因として考えられる。

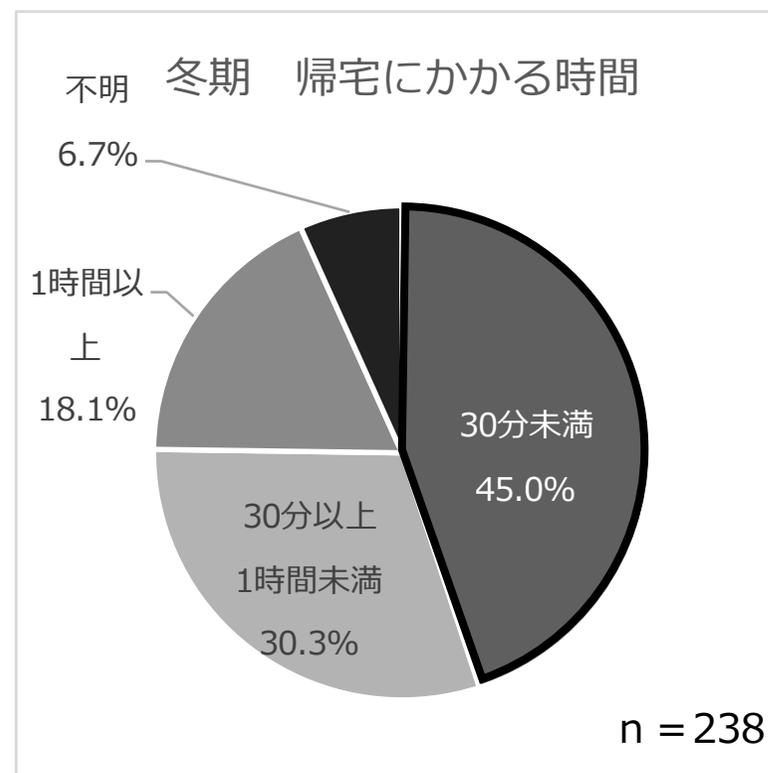
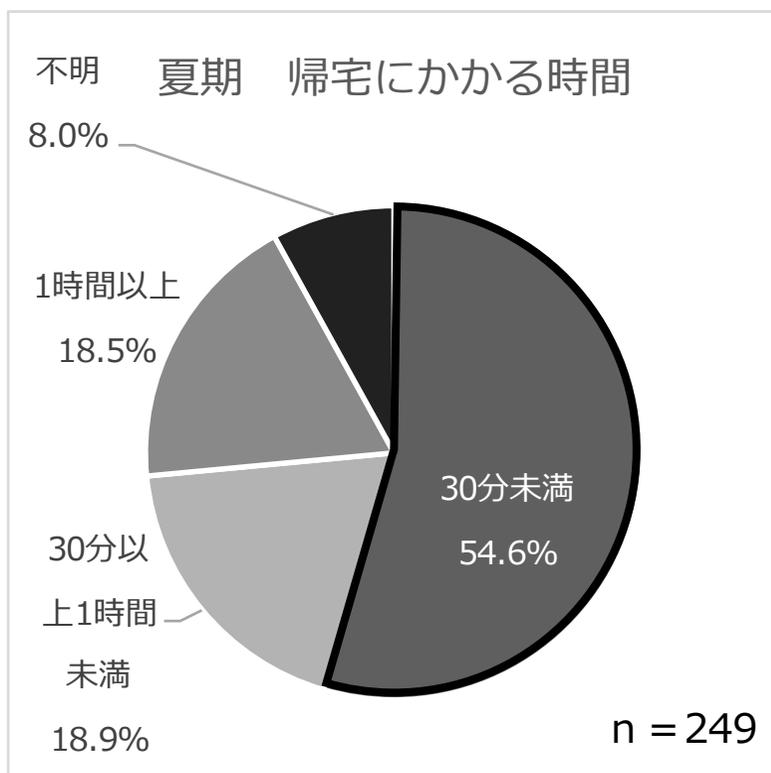
夏期 通学手段 n=256



冬期 通学手段 n=251

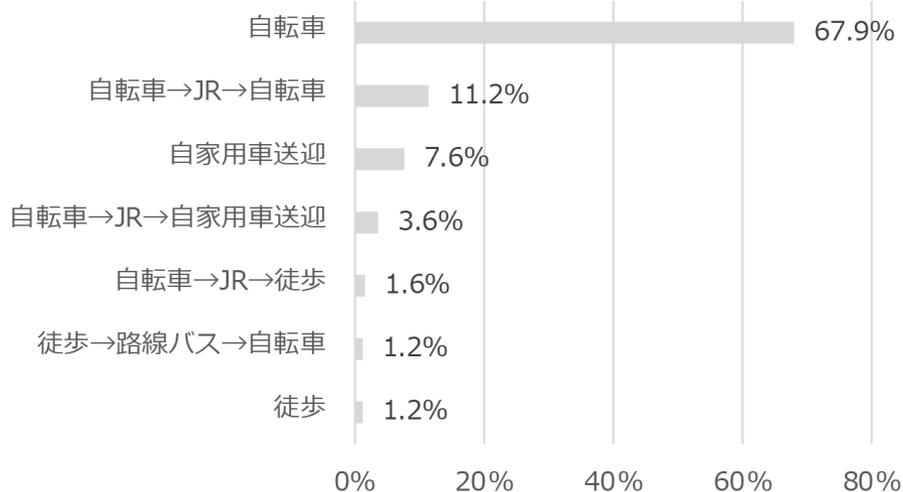


- 帰宅にかかる時間についても、通学にかかる時間と同様の傾向であり、夏期においては「30分未満」の割合が高くなる傾向にあり、冬期では「30分以上1時間未満」の割合が高くなる。

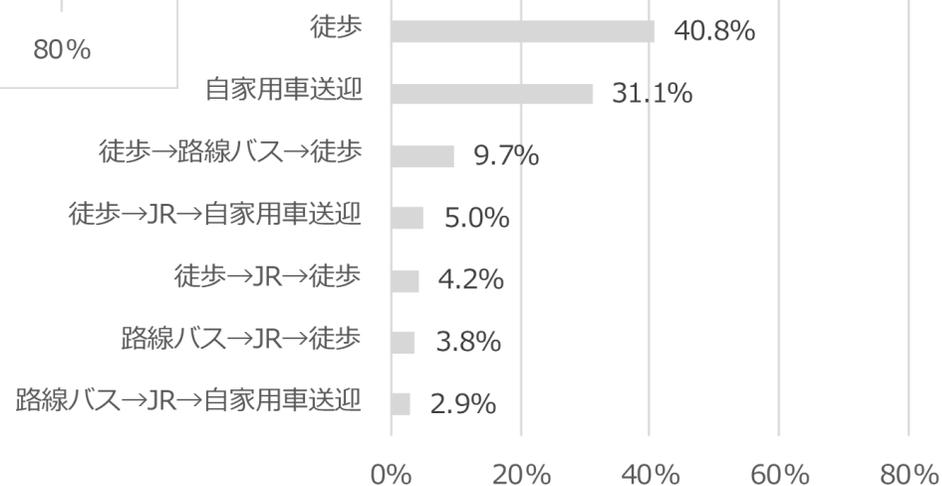


- 帰宅時の移動手段においても、通学時と同様の傾向であり、夏期は「自転車」、冬期は「徒歩」の割合が高くなる傾向にある。

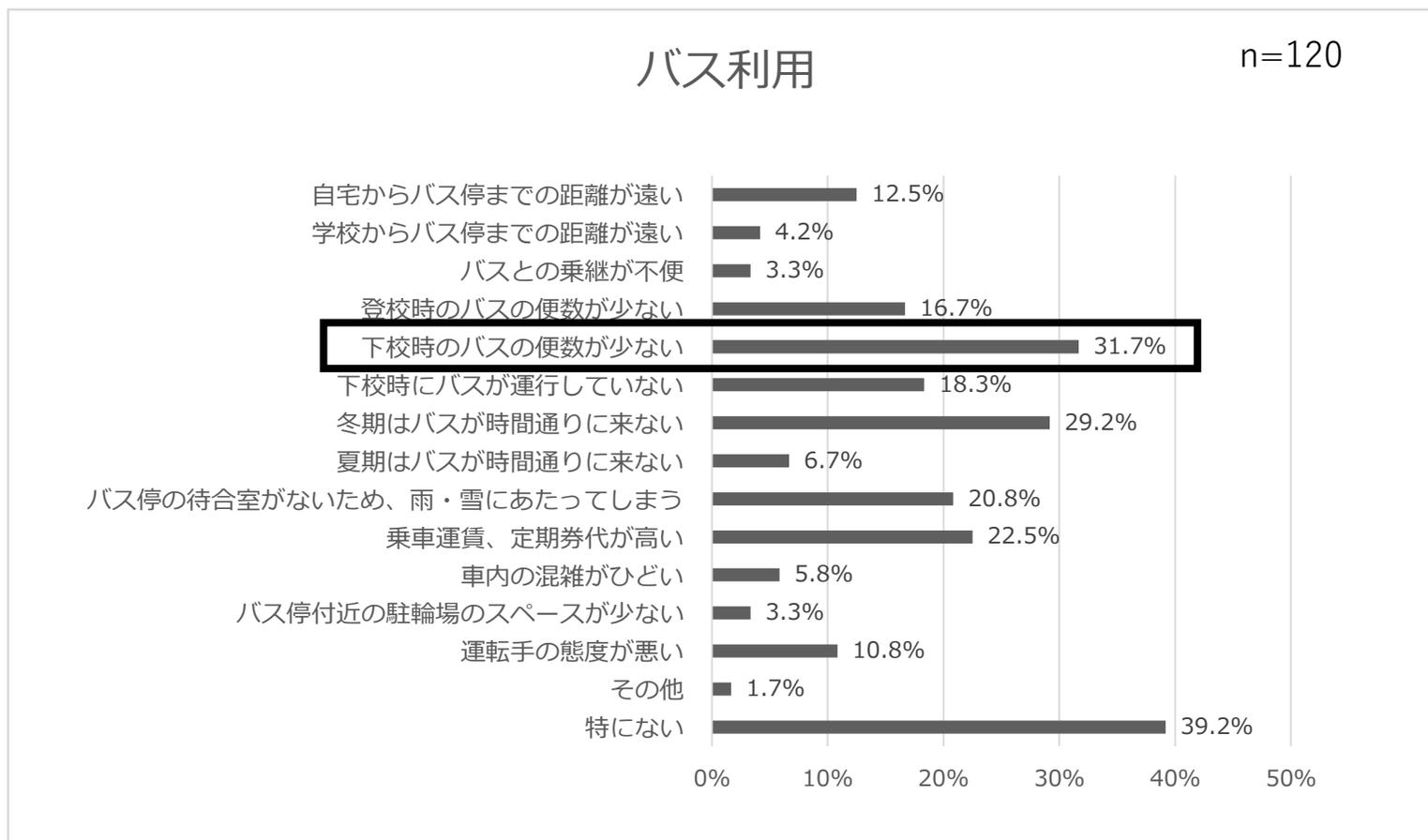
夏期 帰宅手段 n=249



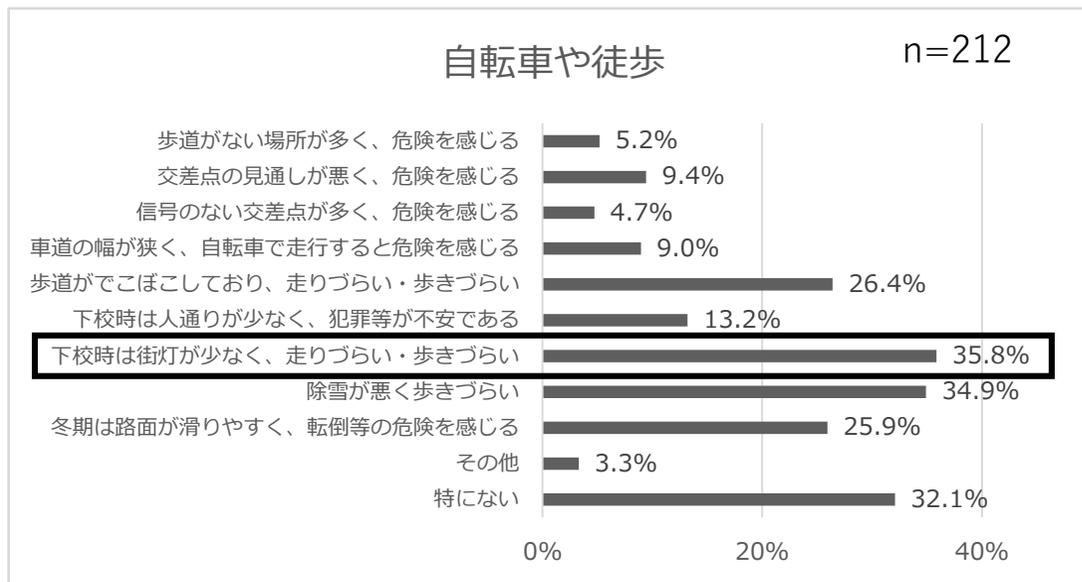
冬期 帰宅手段 n=238



- 通学にバスを利用していて改善して欲しいこと、不満に感じていることは「**下校時のバスの便数が少ない**」(31.7%)が最も多く、次いで「**冬期はバスが時間通りに来ない**」(29.2%)、「**乗車運賃、定期代が高い**」(22.5%)となっている。



● 自転車や徒歩で通学をしていて、改善して欲しいこと、不満に感じていることは「**下校時は街灯が少なく、走りづらい・歩きづらい**」(35.8%)が最も多く、次いで「**除雪が悪く歩きづらい**」(34.9%)、「**歩道がでこぼこしており、走りづらい・歩きづらい**」(26.4%)となっている。

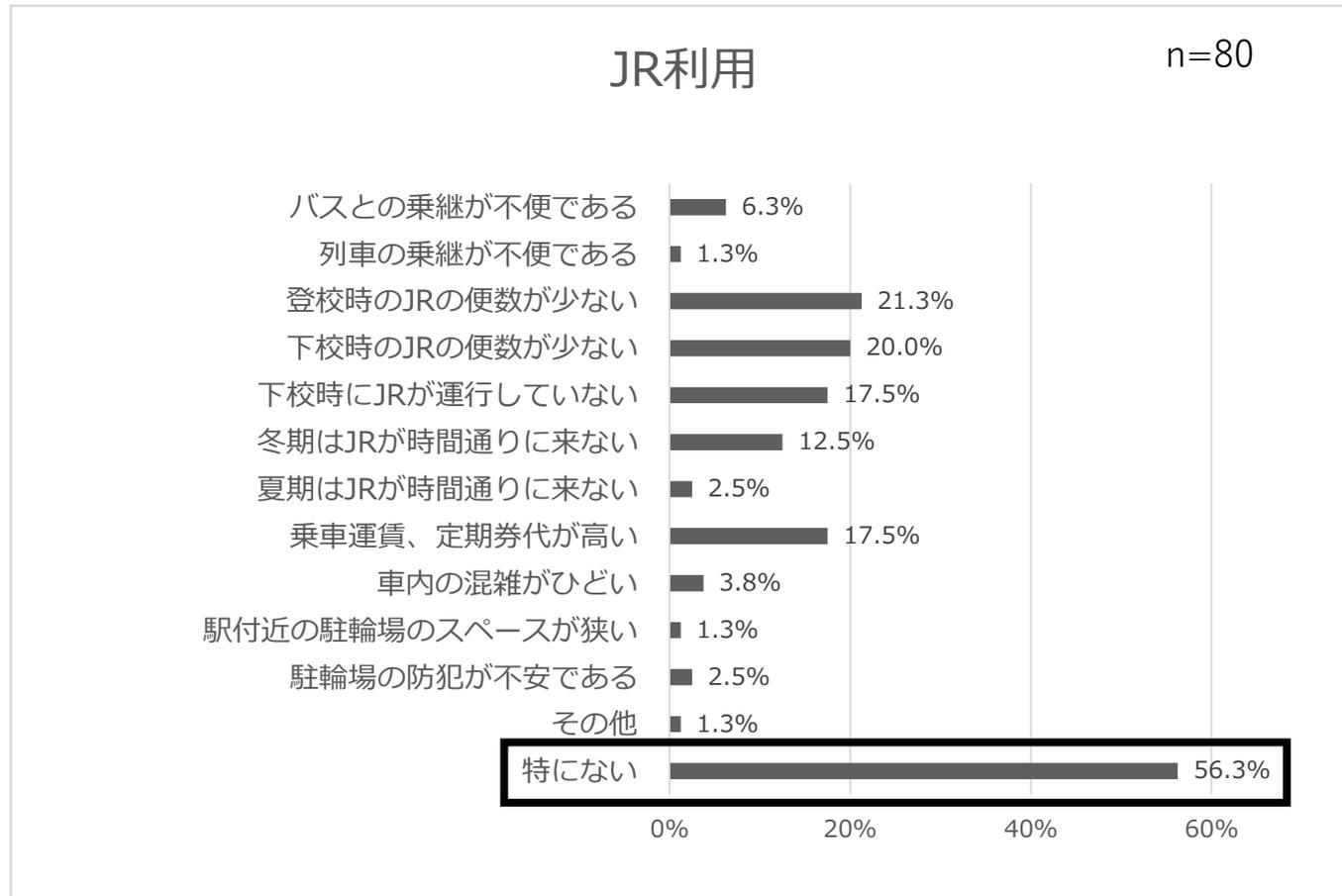


■改善して欲しい場所、不満に感じている場所の具体的詳細

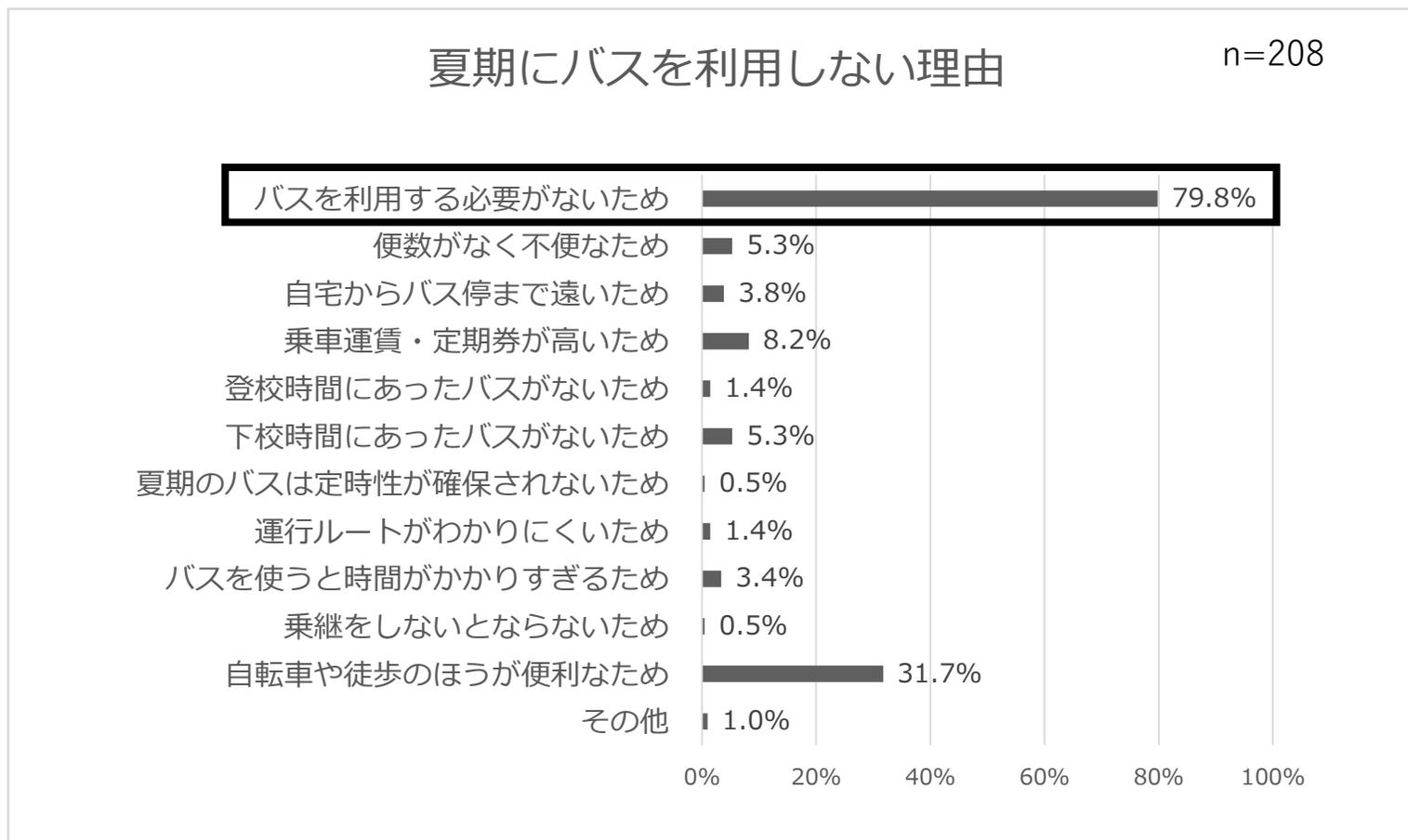
- ・ どの辺もでこぼこが多くて自転車での来るのが辛い
- ・ セーコマ前の横断歩道、学校行くまでのセーコマ横の道
- ・ 街灯が少ないし、間隔が空いているので自転車に乗っていても走行するのが不安
- ・ 街灯が少なく暗いし、暗い分こわい
- ・ 野球ネットの横の道
- ・ 西の方面すべて
- ・ 赤い道の近くのところの歩道
- ・ 総体裏、中央公園前
- ・ 上土別から中土別のあたりが特に
- ・ 線路付近の道
- ・ 道路と歩道の段差がひどい、道がガタガタ、糞で汚い
- ・ 観桜橋
- ・ 翠月の近く

- ・ 学校から駅までの道
- ・ グリーンベルトのところや、西の方
- ・ 東丘
- ・ 歩道がほとんどない
- ・ 角にある家による死角
- ・ でこぼこな道路、除雪が悪くて歩きづらいところがある
- ・ タイルの道、西條前、グリーンベルト、国道
- ・ 歩道、国道から外れた民家の人が車道に雪を山のように出しているため、車が1台程しか通れないため、歩きづらい
- ・ 北星公園近辺の道路
- ・ 神社通り、カトリック幼稚園前
- ・ 剣淵アンダーパス付近

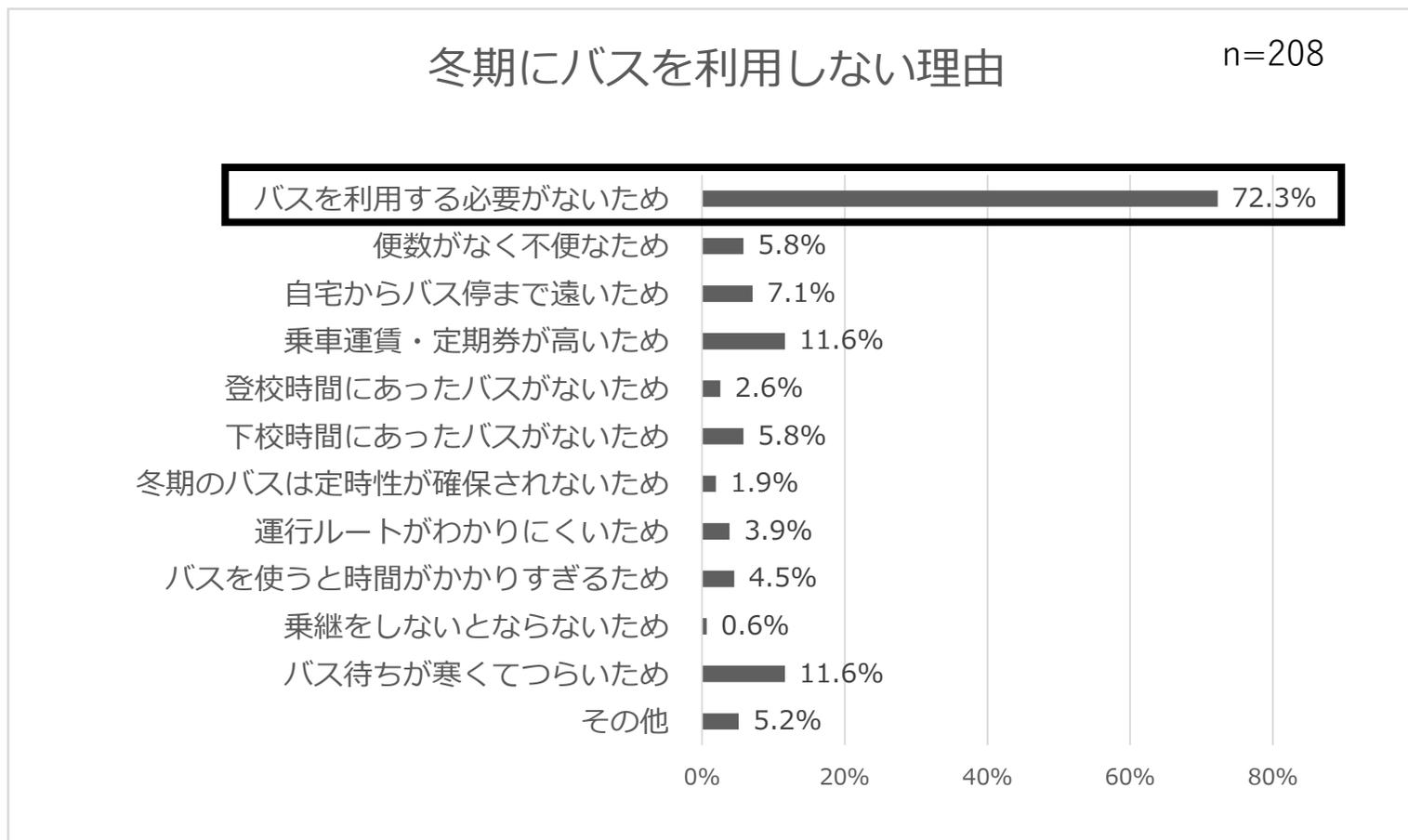
●通学に利用しているJRの改善して欲しいことや、不満に感じていることは「特にな
い」(56.3%)が最も多く、次いで「登校時のJRの便数が少ない」(21.3%)、「下校
時のJRの便数が少ない」(20.0%)となっている。



●夏期にバスを利用しない理由は、「バスを利用する必要がないため」(79.8%)が最も多く、次いで「自転車や徒歩のほうが便利のため」(31.7%)、「乗車運賃・定期券が高いため」(8.2%)となっている。



●冬期にバスを利用しない理由は、「バスを利用する必要がないため」(72.3%)が最も多く、次いで「乗車運賃・定期券が高いため」(11.6%)、「バス待ちが寒くてつらいため」(11.6%)となっている。



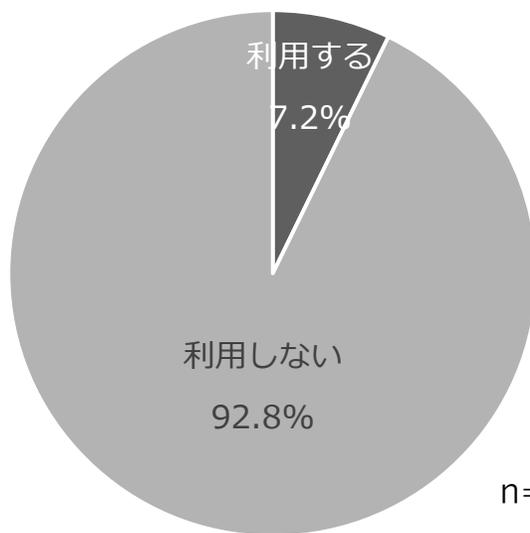
■ その他詳細

・部活の活動場所の近くにバス停がない

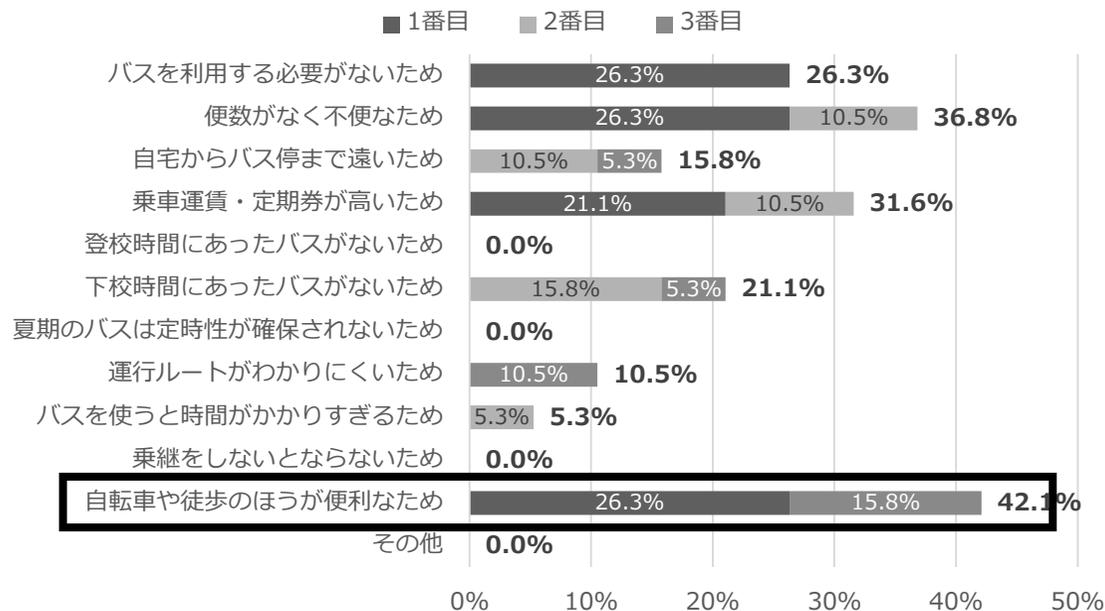
・親の送迎

- 夏期の通学についてバスが今後改善された場合、「利用しない」との回答が、約9割を占めている。
- 改善してほしいことの優先度が高いのは、「自転車や徒歩のほうが便利のため」(42.1%)が最も多く、次いで「便数がなく不便なため」(36.8%)、「乗車運賃・定期券が高いため」(31.6%)となっている。

不満解消時の
夏期の通学のバス利用

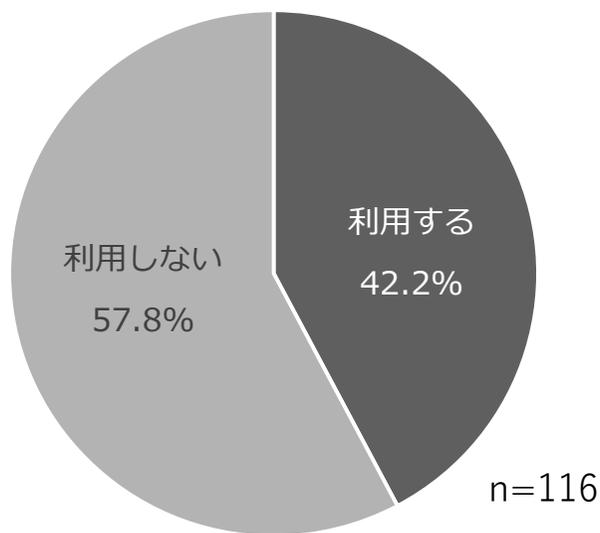


夏期 通学バス 改善してほしいこと n=19



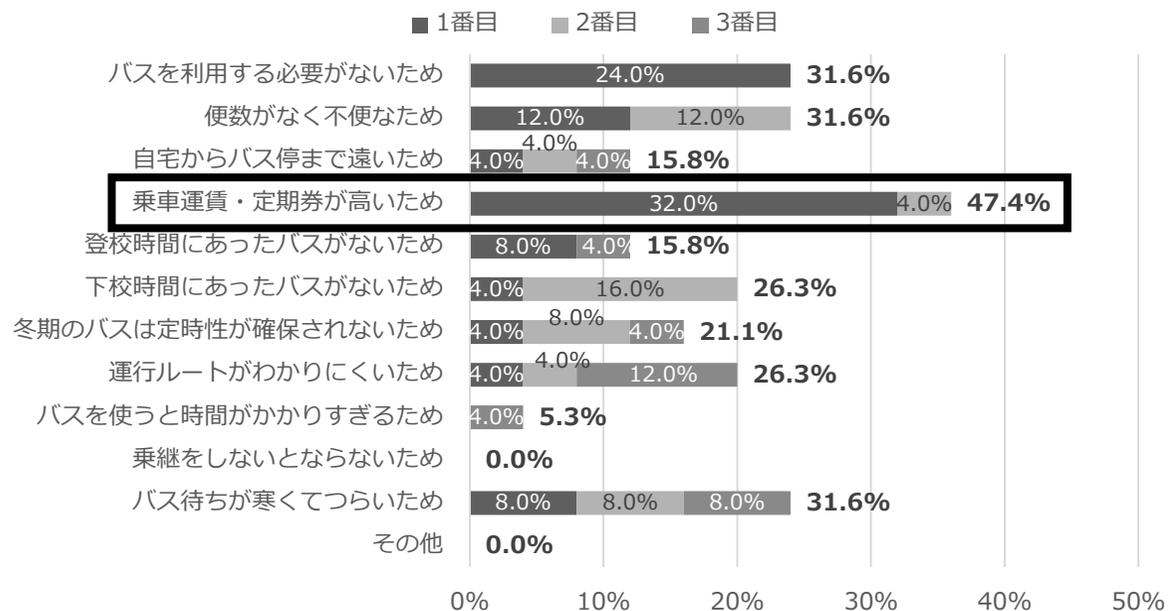
- 冬期の通学についてバスが今後改善された場合、「利用しない」との回答が、約6割を占めている。
- 改善してほしいことの優先度が高いのは、「乗車運賃・定期券が高いため」(47.4%)が最も多く、次いで「便数がなく不便なため」(31.6%)、「バス待ちが寒くてつらいため」(31.6%)となっている。

不満解消時の
冬期の通学のバス利用

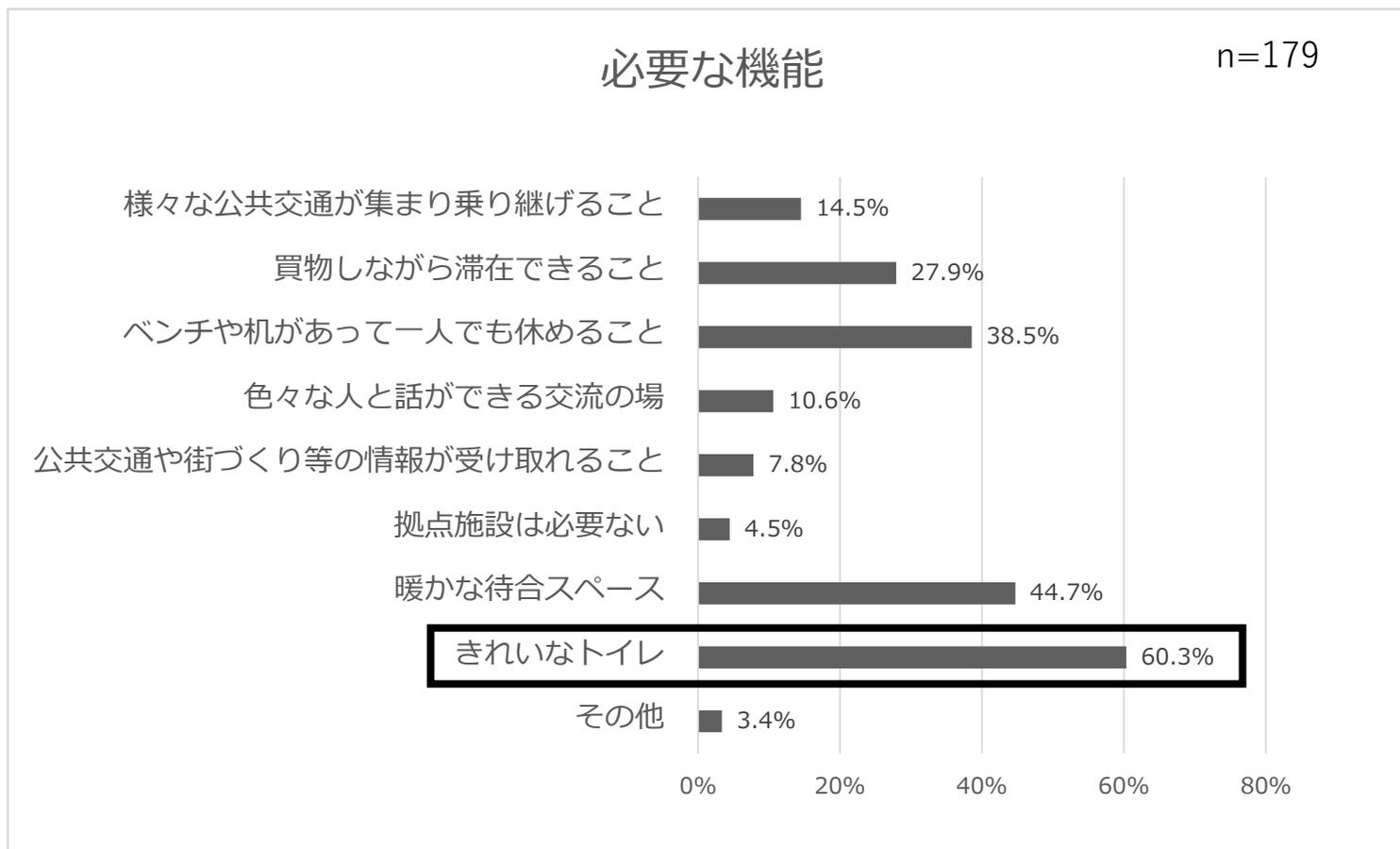


冬期 通学バス 改善してほしいこと

n=25



●今後の公共交通のあり方を考えるうえで、「バスとバス」や「バスとJR」などの乗り換え拠点に必要な機能は「きれいなトイレ」(60.3%)が最も多く、次いで「暖かな待合スペース」(44.7%)、「ベンチや机があって一人でも休めること」(38.5%)となっている。



■ その他詳細

- ・除雪をきちんとして欲しい、待合スペースの入り口
- ・コンビニ

- ・バスケットコート